

# 100年の歴史の一員でいることに喜び実感 市田講演・胸に落ち、みなぎる元気 50日間全力で勝利へ



5月2日、中国ブロック決起集会が開催され、189カ所の視聴箇所から670人が視聴しました。

決起集会では市田忠義副委員長がウクライナ問題、憲法問題、自衛隊問題などに関する共産党の見解を明確に説明。にひそうへい参院比例予定候補と選挙区予定候補が決意を表明しました。(写真左から講演する市田副委員長、決意表明するにひそうへい比例候補、Zoom画面。そして下段は各選挙区予定候補。岡山・すみより聡美さん、広島・中村たかえさん、山口・吉田達彦氏、鳥取・島根合区・福住ひでゆき氏)。



以下、アンケートを紹介します。

「ウクライナ問題や平和をめぐる党の方針をあらためて詳しく聞くことができ、党の歴史にも確信を持つことが出来ました」(岡山)、「東アジアに平和をつくる『外交ビジョン』、自衛隊の段階的解消の方針について良く分かりました。自分の言葉で語れるようもっと学習します」(広島)、「ウクライナ問題をどのように対話をしていくか、漠然としていたが、よく分かりました。学びつつたかひ、たかひつつ学ぶ選挙に」(山口)、「春日質問、袴田問題に触れて日本共産党への理解、偏見に対する戦いを経て今日があり、ウクライナ問題に対して今の私たちの責務を感じた」(鳥取)、「市田さんの『対話を難しく考えない』という言葉に励まされた・・確信をもって足を踏み出さなければ」(島根)

## 女性・業者・農民・労働者などタテ線後援会 スタートダッシュ



参院選勝利へ各タテ線分野の取り組みが強まっています。4月4日には女性後援会連絡会、26日には西日本農民後援会決起集会、27日には鳥取県業者後援会決起集会がそれぞれオンラインを活用して開催されています。比例代表選挙では各党も業界・労組など「タテ線活動」を重視しています。